

質 問 回 答

2022 年 1 月 28 日

「(案件名) アフリカ地域「成長する水道事業体」支援におけるプラットフォーム活動情報収集・確認調査」

(公示日:2022 年 1 月 12 日/調達管理番号:21a01052)

通番号	当該頁項目	質問	回答
1.	P.19 第5条. 調査の内容	第 1 回現地作業期間について 6 月上旬～8 月上旬(30 日間)と説明書に記載がありますが、コロナ感染拡大により各種業務、時期の調整等の必要性が想定されます。現地作業を遅くともいつまでに終わらせるという時期の制約はありますか。	第 1 回現地作業期間含め、全工程はフォーラム開催を 2023 年 2 月と想定した場合のスケジュールです。現段階での予定であり、コロナ感染症状況を鑑みて柔軟にスケジュールを調整したいと考えています。また全体工程が大幅に遅延する場合は契約期間変更の可能性もあります。
2.	P.19 第5条. 調査の内容	フォーラム開催予定日の第2回現地調査期間について、2023 年 1～2 月と記載がありますが、現時点で確定でしょうか。今般のコロナ禍の影響で日程に変動が生じる可能性も想定されているでしょうか。	質問1への回答のとおり、フォーラム開催含め全工程期間変更及びそれに伴う契約期間変更の可能性もあります。
3	20 頁 第3章 第5条【現地作業(2022 年 6～8 月)】(2) 22 頁 第3章 第5条【国内作業(2022 年 8～12 月)】(7) ケース事業体とグッドプラクティス事例	現地調査(2022 年 6～8 月)で、6 つのケース事業体候補のうち、4 つの事業体を調査することになっています。これら 4 つのケース事業体は、それぞれグループワークで発表されるグッドプラクティス事例を発表することになりますか。 あるいは、ケース事業体とグッドプラクティス事例とは別に選定しますか。その場合、ケース事業体の役割はどのようなものでしょうか。	6 つのケース事業体候補に対し、4 つの事業体は現地調査、2 つの事業体は JICA の既存情報に基づき、最終的に計 6 ケース事業体を選定します。この 6 ケース事業体が各々1 グッドプラクティス事例を発表します。これら 6 グッドプラクティス事例は、フォーラム 1 日目開催予定の全体発表セッション(グループワーク前に実施)にて発表される予定で、3 つのサブテーマに対し各々 2 つの事例発表(計 6 グッドプラクティス事例)で構成されることを想定しています。

4	21-22 頁 第 3 章 第 5 条【国内作業(2022 年 8~12 月)】(5)(6)(7) サブテーマ、グッドプラクティス事例、グループ分け	サブテーマは 2 つ設定し(仮にテーマ A と B)、それぞれグッドプラクティス事例を 2 点選出するので、グッドプラクティス事例は 4 点(A-1、A-2、B-1、B-2)が選出されるという理解でよろしいでしょうか。 その場合、全ての事業体はテーマ A グループとテーマ B グループに分類され、別々にグループワークを行う、と理解すればよろしいでしょうか。	基本的な考え方はご理解のとおりですが、上記のとおり 3 サブテーマ、6 グッドプラクティス事例を想定しています。 従って、全ての事業体は3グループに分類され、別々にグループワークを行います。
5	22 頁 第 3 章 第 5 条【現地作業(2023 年 1 月~2 月)】 受注者は以下の運営支援を行う。	フォーラム開催にあたり、参加者の航空券手配、宿泊予約、VISA 取得、空港送迎、フォーラム当日の受付、資料配布、会場案内係、フォーラム MC、MC 補助などで人手が必要になると考えます。 これら業務が、受注者が行う運営支援の範囲に含まれると考えると、業務従事者だけでは対応しきれない部分は、第 1 章 8(6) 3)の定額見積の項目とは別に、現地特殊傭人及び現地再委託により費用を計上しておく必要があると考えます。 あるいは、事務局が行う会議全体運営の範囲に含まれると理解すれば、再委託費用の見積は不要と考えられますが、如何でしょうか。	ご指摘のこれらのロジは、受注者が行う運営支援の範囲に含まれることを想定しています。現段階では現地再委託は想定しておりませんが、再委託を検討される場合はプロポーザルにてご提案をお願いいたします。

以上